

# 動物學雜誌(第三十七卷)第四百四十三號

大正十四年九月十五日發行

## 報 文

### 臺灣産の天社蛾に就て

(大正十四年五月三十日受領)

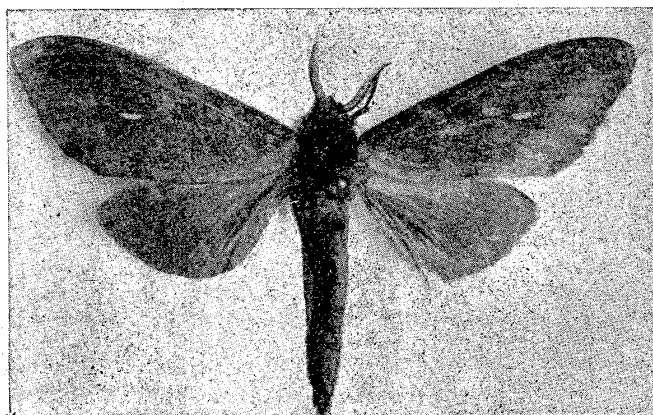
理學博士 松 村 松 年

臺灣産天社蛾科の研究に就ては、從來ワイルマン (F. WILEMAN)、ツトランド (E. STRAND)、丸毛、及び余の發表せるものがあるが、其の調査の未だ不充分なる爲め、今も猶新種の多々あるを發見するなり。今爰に發表する天社蛾は全部臺灣埔里社の一部にて採集せるものなるが、其の地方にも同蛾類の多々棲息するものあるは余の信じて疑はざる所なり。今日迄知れる種類は總數七十八種にして、其の内二十一種は著者の同定を経ざるものなり。今回發表する新種は合計二十二種にして、其の内新屬に係るもの十三あり。之れ等の蛾は多く友人高椋悌吉氏の採集に係るものなるが、尙埔里社バイバラに於ける北海道帝國大學演習林内林學士齋藤良秀及び東京平山修次郎兩氏の手より余に渡りしものも少なからず。今新種を記載するに先ち、以上の三氏に深謝の意を公表す。

#### 1. ウスグロフサシヤチホコ

*Dudusa fumosa* MATSUMURA (n. sp.) (第6圖版(1))

オホフサシヤチホコ *D. nobilis synopla* SMITH. に似れども、其の異なる所は次の如し。



*Dudusa fumosa* MATS. n. sp.  
ウスグロフサシヤチホコ

雄は暗褐。前翅は明瞭に廣くして、前縁より後縁角に向へる黒帯は、中脈上にありては稍々判然すれども、其の以下にありては判然せず。其の内側にある前縁紋はオホフサシヤチホコにては白色なるが此の種にては暗黄なり。第三脈の基部にある銀色紋は小にして判然すれども、他の紋條は何れも餘り判然せず。裏面は表面よりも少しく淡色。

前翅の中央にある斜帯は端直にして、オホフサシヤチホコの如く弓状をなさず。後翅の裏面は更に一層淡色にして、中央の波状帯は暗色を呈し、深く彎曲

す。頭及び胸部は前翅と同色。尾毛は褐色なり。體長(♂) 43mm. 開張 83mm.  
高椋悌吉氏は三頭の雄を採集し、其の一頭を余に贈る。

## 2. タテスデシヤチホコ

*Tensha* (n. g.) *striatella* MATSUMURA (n. sp.) (第7圖版(8))

雄、前翅灰色。中室は暗黄にして、之れより同色の一帯を翅端に送り、之れは翅端に向ひ次第に廣がる。脈の大部は其の上に細き黒線を走らす。第三室に暗色の一紋を具へ、後縁角は廣く綠黄褐。中横線及び後横線は暗色にして、波状をなせども餘り判然せず。後縁の中央に暗色の一長紋あり。後翅は暗色、斑紋を缺く。裏面は暗色。前縁は兩翅とも淡黄色。前翅の前縁に近き基部に黒色の一縦帯あり。下唇鬚は暗色にして、内側は淡黄褐。觸角は黄褐。頭部は灰色。腹背は暗色。腹面及び尾毛は灰白。體長(♀) 25-26 mm. 開張 45-46 mm.

余は高椋悌吉氏の採集せる三匹の雄と、齊藤良秀氏の採集せる一匹の雄とを所有す。

*Tensha* (n. g.) の特徴一雄、口吻は退化して短かく、下唇鬚は棍棒状をなして上向し。第三節は小にして前を向く。觸角は羽状にして、末端の約三分の一は鋸齒状を呈す。前翅は細く、小室を缺き、第六脈は長柄を具へ、第七脈は第十脈より遙内方より分出す。横脈は副前縁脈に對して稍々直角をなし、第五脈は其の中央より出で、第三脈は中室後角の、内方より出づ。後翅の第六及び第七脈は各自と同長の長柄を具ふ。兩翅とも完縁にして *Dudusa* (Wk.) 屬の如く波状の切目を有せず。尾端には柄子状の細毛を簇生す。Genotype-*Tensha striatella* MATSUMURA.

## 3. タカムクミドリミヤチホコ

*Stauropus takamukuanus* MATSUMURA (n. sp.) (第6圖版(8))

雄、前翅は綠色。横線は褐色。前横線は中央脈の所にて内方に屈折す。後横線は一双にして其の間室は灰色、之れは第三脈の處にて深く内方に彎曲し、第五脈の處にて少しく外方に弓曲す。亞外縁線は點紋より成り、前縁にある紋は大なり。内縁には褐紋を列ぬ。後翅は暗褐、前縁は綠色、外縁に暗色紋あり。後翅裏面の前縁は綠色。下唇鬚は暗色。内側は灰色。觸角は黄褐。頭胸は綠色。腹部は暗褐。尾端の兩側に綠色毛あり。體長(♂) 20 mm. 開張 38 mm.

高椋氏は二頭の雄を採集し、其の一頭を余に送れり。

## 4. ツマオビシモフリシヤチホコ

*Quadricalcarifera marginalis* MATSUMURA (n. sp.) (第7圖版(6))

テラセンシモフリシヤチホコ (*Q. coreana* MATS.) に酷似すれども、其の異なる所は次の如し。

雌、觸角の櫛齒は遙に長く、下唇鬚は肥大す。翅は一層暗色を呈し、前翅の中央にある暗緑紋は判然せず。外縁の黒帯は一層外縁に近く位し、其の外側に緑色鱗多し。後翅は暗色にして縁毛も亦同色。翅端に近き前縁に暗色紋ありて、之れに少しく緑色を帯びたる灰白毛を装ふ。裏面は前後兩翅共暗色。尾端に緑色の鱗毛を密生す。體長(♀) 23 mm. 開張 52 mm.

高椋氏は數頭の雌を捕獲し、其内の三頭を余に送りり。

#### 5. タイワンホソシャチホコ

#### *Fentonia crenulata* MATSUMURA (第7圖版(10))

此の雄は既に本誌第三十四卷五二二頁に發表せるを以て、今其の雌を記載すべし。

雌、觸角は全部暗色にして、ホソバシャチホコの如く下面黄色ならず。前翅は遙に廣く、一双の前横線は甚だしく波狀を呈し、其の間室は中央以下にては白色、第一脈の處にて内方に彎し、其の外側に大なる灰白紋を装ふ。中央に大なる暗色紋ありて、其の内に一双の太き後横線あれども餘り判然せず。其の外側帯の兩側は後縁にて白色帯に縁取らる。後横線の外側に白色の弓狀線ありて、之れは點線となりて後縁に達し、更に其の外側は褐色線にて縁取らる。横脈上の黒色の一大紋あり。亞外縁は褐色にして太く、其の外側は細く灰白。後翅は暗色、随つてオソバシャチホコに存在する肛角の暗色紋は判然せず。裏面は暗褐。前翅前縁の外半に白紋列ありて、黒紋と斑をなす。後翅は淡色、前縁、中央帯並に廣き外縁帯は暗褐。體長(♀) 23mm. 開張 54 mm.

高椋氏は二頭の雌を採集し、其の内の一頭を余に送附せり。

#### 6. ワイルマンネグロシャチホコ

#### *Disparia wilemani* MATSUMURA (n. sp.) (第7圖版(4))

これはワイルマン氏が嘗て *D. variegata* WILM. の異常形として發表せるものならんと思はるる點あれども、其の記載と大いに相合せざるものあるを以て今茲に其の異なる所を記すべし。

雄、一、觸角の櫛齒は長くして約二倍長に達し、其の色も一層濃褐なり。

二、前翅の中央(翅の約三分の一)は灰白にして、少しく緑色を帯び、前横線は一層斜にして、ネグロシャチホコよりも高き波狀をなす。外縁の三分の一は紅褐にして、前縁に近き後横線の外側に暗色の太き斜帯あり。後翅の裏面に濃色の中帯を装ふ。

三、腹部は長く、末端の三節に灰白毛を密生す。體長(♂) 23 mm. 開張 52 mm.

高椋氏は二頭の雄を採集し、其の一頭を余に送りり。

## 7. ヘリボシヤチホコ

*Disparia seriatopunctata* MATSUMURA (n. sp.) (第7圖版(3))

雄、前翅暗褐、中央に淡黄褐の大紋ありて、其の内側は前横線にて限られ、外側縁は第三室の半ばに達す。尙翅底も淡黄褐にして、其の外縁に暗褐の翅底線あり。前横線は暗褐、中央脈の下方にて内方に弓曲す。横脈上に小形なる黒色の弦月形紋あり。亜外縁線は黒點列より成り、各點の内側は白縁を具へ、更に其の内側に當り前縁に接して淡色の一紋を装ふ。外縁にも黒點を列ぬ。前縁の外半に黄白の小點列あり。後翅は暗色。裏面は暗灰色。前翅前縁の外半に黄白點を列ぬ、中央に灰白の判然せざる圓き大紋あり。後翅は灰白にして、判然せざる暗色の三條を具へ、最も内側にあるものは短かく、前縁より横脈に達するに過ぎず。體は暗褐、尾端に灰白鱗多し。體は灰白。觸角は暗褐、櫛齒は黄褐。體長(♂) 20 mm. 開張 40 mm.

高椋氏は二頭の雄を採集せり。

## 8. トリヒゲシヤチホコ

*Higena* (n. g.) *plumigera* MATSUMURA (n. sp.) (第7圖版(5))

雌、前翅は暗褐、鉛色と黒色の斑紋を装ふ。翅底線は黒色、其の外側は黄色線にて縁取らる。前横線は暗色にして波状を呈し、中室及び第一室の處にて外方に弓曲す。其の外側に當り中室に黒色の一横紋を装ひ、其の外側に鉛色の一紋あり。一双の外横線は黒色にして、波状を呈し、其の第四及び第五室にあるものは顯著。其の外側の脈上に白鱗を装ふ。外縁に近く黒色點列ありて、其の内側に當り第一、第二及び第六室に鉛色の斑紋あり。縁線は暗色。後翅は暗色、斑紋を缺く。裏面は後翅と同色にして、前翅の前縁に判然せざる黄紋を列ぬ。體は暗褐。觸角は黄褐、櫛齒に黒點を列ぬ。體長(♀) 22 mm. 開張 46 mm.

高椋氏は二頭の雌を捕獲し、其の一頭を余に送れり。

*Higena* (n. g.) の特徴一雌、觸角は長齒の櫛齒状にして、唯だ其の末端の五分の一は長齒の鋸齒状を呈す。下唇鬚は上向し、第一及び第二節に長毛を装ひ、第三節は小にして長さ徑の約二倍長あり、長毛を缺く。前翅は稍々三角形を呈し、小室を缺く。第六脈は中室の前角下方より出で、第七脈は第十脈よりも遙中室に近接して分出す。第五脈は横脈の中央より出で、横脈は副前縁脈に對して稍々直角をなし、中横脈は退化して細く、第五脈を界とし前後の横脈は少しく内方に曲る。第三脈は中室の後角より遙離れて後方より出づ。後翅の第六及び第七脈は共有の短柄を其へ、第三脈は遙離れて中室の後角よりも後方に

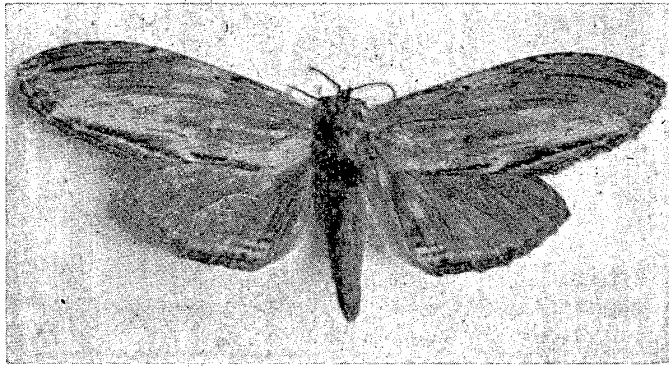
出づ。前横脈は副前縁脈に對して直角をなせども、後横脈は斜走し、中横脈は退化す。之れは稍々 *Eufentonia* (Mats.) 層に近きものなり。

Genotype—*Higena plumigera* MATSUMURA.

#### 9. クロスヂオホセヤチホコ

*Macroshachia* (n. g.) *lineata* MATSUMURA (n. sp.)

雌、翅は灰褐。前翅は少しく紅色を帯び、前縁は灰白、中央に近き二紋は黒色、外方の三分の一には黒色の短線を列ぬ。第六、第七及び第九室に黒縦條ありて、其の内第六室にあるものは甚だ長し。後縁に近く太き黒縦條ありて、其の中央は遮斷せられ、下方は白線にて縁取らる。尚第一室の處に此の縦線と相平行して二條の黒線あれども、餘り判然せず。外縁線は黒色、其の外側は灰白。後翅の後縁に近く暗色の二帯ありて波状を呈し、前縁に至るに従ひ不明となる。何れも肛角に近く、其下方は白帯にて縁取らる。後縁に近く黒色の二帯ありて、第一室にあるものは少しく青白鱗を混ず。前翅の裏面は暗色、外縁に黒帯を具へ、前縁の三分の二の處に短黒線ありて、其の外方に白紋を列ぬ。翅は灰白、前縁に黒鱗を散在し、後縁には二黒帯あり。體は翅と同色。胸及び腹背の基部は暗色。體長(♀) 30 mm. 開張 87 mm.



*Macroshachia lineata* MATS n. g. et. n. sp.

クロスヂオホセヤチホコ

高椋氏は二頭の雌を採集し、其の一頭を余に送付せり。

*Macroshachia* (n. g.) の特徴—雌、觸角は櫛齒狀にして、末端の四分の一は鋸齒狀を呈す。下唇鬚は上向して頭頂に達し、短毛を密生す。第三節は小にして、稍々球形を呈す。前翅は細長にして稍々同幅をなし、外縁は波狀に刻らる。小室を缺き、第六脈は長柄を具へ、第七脈は第十脈よりも遙翅端に近接して分出す。第五脈は横脈の中央より出で、横脈は副前脈に對して稍々直角をなし、後横脈は退化す。第三脈は中室の後角よりも後方に出づ。後翅の外縁角は尖り、第六及び第七脈は共有の長柄を具へ、第五脈は横脈の中央より出で、中横脈は退化し、後横脈は斜傾す。第三脈は中室の後角より後方に出づ。抱刺の數は判然せざれど少なくとも十四五あり。

Genotype—*Macroshachia lineata* MATSUMURA.

## 10. オホマルモンシヤチホコ

*Formafentonia* (n. g.) *rotundata* MATSUMURA (n. sp.) (第6圖版(10))

雌、前翅は暗褐。翅端に近く稍々楕圓形に近き緑褐紋ありて、其の周圍は灰白、翅端緑褐、翅底の三分の一は前縁を除き灰色にして、稍々三角形を呈し、其の暗褐部と接する所は黄褐、尙後縁角にも同様の三角紋あれども遙かに小なり。楕圓紋の外側に黒紋列ありて、其の第二室にあるもの最も大、前縁に至るに従ひ次第に小形となる。亞外縁線は白點列より成り、各點の内側に黒點を装ふ。縁毛は緑褐との暗褐との斑をなす。後横線は細しと雖も稍々判然す。前横線は斜走して稍々後縁の中央に開口し、後横線と相接近す。後翅は暗色。裏面は暗灰色。前翅の前縁及び外縁は黄褐を帯び、縁毛は暗色と黄褐との斑を成す。中央に前後の兩翅を通じて判然せざる暗色の一帯あり。雄の形は雌に比し遙かに小、斑紋は黒褐を呈し、従つて餘り判然せず。體は淡緑褐。頭は暗褐。觸角は黄褐。體長(♂♀)20-23 mm. 開張(♂♀)40-48 mm. 高椋氏は二頭の雄と一頭の雌とを、平山氏は一頭の雄を採集せり。

*Formofentonia* (n. g.) の特徴。

*Fentania* (BTLR) 層に似れども、其の異なるところは次の如し。

雌の觸角は雄と同様に長き櫛齒狀を呈し、下唇鬚は長くして頭頂に達し、第三節は割合に長し。前翅は三角形にして廣く、第六脈は短柄を具へ、第七脈は明瞭に第十脈よりも翅端に近接して出づ。横脈は副前縁脈に對して稍々直角をなし、第五脈は中横脈に對して直角をなす。尙後翅の第五脈も横脈に對して直角をなし、上方約三分の一の所より出づ。*Disparia* (NAG.) 屬に異なる所は前翅に小室を具へ、各櫛齒端に筆狀毛を有せざること等にありて容易に區別せらる。

## 11. ネットビシヤチホコ

*Metasomera* (n. g.) *plagifera* MATSUMURA (n. sp.) (第6圖版(2))

雌、前翅の基半部は暗褐、末端の殘部は灰白にして綠色を帯び、其の限界は波狀を呈し、前縁の中央より後縁角の前方に向ひ斜走す。翅底に近く、中脈下に卵形の黒紋ありて、其の周圍は黄褐。後縁の中央に淡緑の稍々四角形をなせる大紋ありて、其の中央及び内側に暗色の波狀線を具へ、其の直上及び外側に黑色の部分あり。前縁の基部は緑白。横脈は黑色。一双の横線は暗色、波狀にして細く、高り判然せず。外縁に近き前縁紋は黄褐、楕圓形を呈し、其の内に黒縦條ありて、殊に其の後縁にあるものは太し。亞外線は淡緑にして波狀を呈し、外縁に近く黑色の點紋列あり。縁毛は淡緑。脈の終點に褐毛を混す。後翅は暗色。肛角に白色の絃月形紋ありて、其の直上は黒紋にて縁取らる。裏面は暗灰色。前縁は黄褐。小室の上方に暗褐の二紋を具へ、其の外側に白紋を列

ぬ。下唇鬚は黄褐、白毛を混す、觸角は黄色、黒鱗あり。胸部は縁褐。腹部は後翅と同色。基部の毛塊に少しく暗褐毛を混す。體長(♀)12 mm. 開張 50-54 mm.

高椋氏は二頭の雌を捕獲せり。

*Metasomera* (n. g.) の特徴—*Somera* (Wk.) に酷似すれども、其の異なる所は次の如し。

一、雌、觸角は稍々鞭狀、廓大すれば低き鋸齒狀をなし、各齒より粗毛を簇生す。(ワルカー氏の記載せる *Somera* 屬の特徴には雄のみ記せられ、雌の特徴なし)。

二、下唇鬚は細く、第三節は小なれども、末端は尖小し、上向す。

三、前翅は細長。外縁は淺く波狀に刻られ、第二脈より後縁角に至る迄甚だしく傾斜す。第六脈は小室の中央よりも更に外方より分出す。第七及び第八脈は共有の長柄を有す。後翅の肛角に暗色紋あり。

Genotype—*Metasomera plagifera* MATSUMURA.

## 12. シロヘリボシシヤチホコ

*Formotensha* (n. g.) *marginalis matsumura* MATSUMURA (n. sp.) (第6圖版(9))

雄、前翅は灰白。中室外に少しく褐色を帯びたる部分ありて、波狀をなせる白色の後横線は其部分に於てのみ判然す。中室の一紋は暗色。外縁に近く亞外縁線の處に暗色の一紋列あり。外縁の各縦脈の終止する所に一暗色紋あり。前縁の前縁に近き所に白色の四點を列ね、其の一圓は暗色を帯ぶ。後翅は灰白。外縁暗色を帯ぶ。裏面は灰色、前翅の前縁は暗色。外方の三方の一に三白點を列ね。縁線は暗色。縁毛は白色。觸角は黄褐。下唇鬚、頭及び前胸背は暗褐。胸腹は灰白。腹部の基部に淡き黄褐毛あり。體長(♂)20 mm. 開張 25 mm.

高椋氏は數頭の雄を所有し、余に其の一頭を贈附せり。

*Formotensha* (n. g.) の特徴—雄、觸角は櫛齒狀にして、末端の三の分の一は低き鋸齒狀を呈し、櫛齒には刷毛様の粗毛あり。下唇鬚は細くして紡錘狀に近く、第三筋は小にして稍々尖る。前翅は細く、外縁は弓狀に孕み、完縁なり。小室を缺き、第六脈は長柄を具へ、第七脈は第十脈よりも遙翅端に近く出で、第三脈は中室の後角より而して第四脈は後角の前方より出ず。後翅は小にして、第六及び第七脈は共有の長柄を有し、第五脈は横脈の上方三分の一の處より出づ。第三脈は中室の後角より遙離れし後方より出づ。腹部は長く、後翅よりも遙に突出し、尾端に長毛を密生す。觸角は *Wilemanus* (NAG.) 屬のそれに酷似す。

Genotype—*Formotensha marginalis* MATSUMURA.

## 13. ネウスシャチホコ

*Stenoshachia* (n. g.) *bipartita* MATSUMURA (n. sp.) (第6圖版(7)♂)

雄、前翅の翅底過半部は灰黄、殘部は暗色。黄褐の中横線は後縁の三分の一の處より出で、第一脈の中央迄斜走し、夫れより弓狀の斜線を畫きて同色の横脈紋と合し、後波狀をなして前縁の中央に出づ。横脈紋は外側にて灰白線にて縁取らる。後横線は黑色にして細く、波狀を呈し、後縁にある黄褐の波狀の短線に連續す。亞外線は黑色の點紋より成り、其の外側は綠色を帶ぶ。第六乃至第八の各室に黄褐の縦條を裝ふ。外縁は細く黑色。縁毛には災色毛を混す。後翅は灰白。外縁線、翅端竝に肛角紋は暗色。肛角紋の下方は白條にて縁取らる。裏面は灰白。前翅の外方三分の一は暗色。前縁に三個の褐色紋を列ぬ。外縁線は暗色。觸角は暗褐。下面は黄褐。頭及び下唇鬚は暗褐。胸背は灰白。腹部は暗黄。體長(♂) 18 mm. 開張 38 mm.

高椋氏は一頭の雄を捕獲せり。

*Stenoshachia* (n. g.) の特徴一雄、觸角は鞭狀、各節より筆狀の粗毛を簇生す。下唇鬚は上向して頭頂に達し、長毛なく、第三節は小なり。前翅は細長。稍々同幅にして、唯だ後縁角の處にて少しく廣し。外縁は甚だしく傾斜し、完縁なり。小室は細長。第六脈は長柄を具へ、第七脈は小室の末端より出で、第十脈は小室より出づるも、第七脈よりも遙内方より出づ。第五脈は横脈の中央より少しく上方より出で、中横脈は退化す。第三脈は第四脈より離れて中室後角の後方より出づ。後翅の第六及び第七脈は共有の長柄を具へ、第五脈は中室の中央より少しく上方より出づ。横脈は退化して餘り判然せず。後翅の肛角に斑紋あり。

Genotype—*Stenoshachia bipartita* MATSUMURA.

## 14. ウスグロホソシャチホコ

*Betashachia* (n. g.) *angustiptennis* MATSUMURA (n. sp.) (第7圖版(7))

雄、體翅暗灰色。前翅の前縁に暗色紋を列ぬ、横脈の少しく外方に當り前縁に灰白の一紋あり。翅底線は黑色なれども餘り判然せず。前横線は細く、暗色なれども餘り判然せず。中室の後角に一黒點あり。後横線は暗色にして細く、波狀を呈し、後縁の中央に終る。亞外縁線は暗褐にして、紋列より成り、餘り判然せず。外縁に近き前縁に暗色の一紋ありて、其の外側は灰白紋にて縁取らる。後縁は後縁角を除き灰白。縁毛に暗色紋を列ぬ。後翅の中央及び外縁に暗色の各一帯ありて、外縁にあるものは太し。裏面は暗灰色。前翅前縁の外半に灰白紋を列ぬ。後翅は灰白、前翅同様に縦脈の終る所に暗色紋あり。觸角は暗



褐。複眼の周囲にある毛は暗褐。胸部は前翅。腹部は後翅と少々同色。體長(♂) 21 mm. 開張 49 mm.

高椋氏は一頭の雄を捕獲せり。

*Betashachia* (n.g.) の特徴—觸角は深き鋸齒状にして、各齒の末端に筆状の毛塊あり。齒は末端に至るに従ひ次第に小なり。下唇鬚は短小にして、頭頂に達せず、前方に向き、第三節は小にして少々卵形を呈し、第二及び第三節には長毛を装ふ。前翅は細くして、三角形を呈し、外縁は完縁にして、第五及び第六脈の處にて少しく弓状に孕む。小室を缺き、第六脈は短柄を具へ、第七脈は第十脈よりも遙内方より出づ。第五脈は横脈の上方約三分の一の處より出で、夫れより以下の横脈は弓状をなし、中横脈は退化して細し。第三脈は中室の後角よりも後方に出づ。後翅の第六及び第七脈は共有の長柄を具へ、第五脈は横脈の中央よりも上方に出で、横脈は副前縁脈に對して少々直角をし、後方に至りて少しく傾斜す。第三脈は前翅の夫れに異ならず。

Genotype—*Betashachia angustipennis* MATSUMURA.

#### 一五、トガリシヤチホコ

*Togarishachia* (n. g.) *argentopicta* MATSUMURA (n. sp.) (第6圖版(3))

雌、前翅は灰黄、少しく綠色を帯ぶ。中室の末端に二黒紋ありて、内方のもは小にして二分す。翅底線は黑色にして、點紋列となる。前横線は前縁にして判然し、外方に屈折す。後横線は三本にして、暗色の點紋列より成り、内側のもは外側のもよりも離れて位し、中室の外側にて深く彎曲す。中室の後角より外縁に向ひ淡黄褐の一條を縦走し、第三室には其の縦條内に更に銀白色の一縦條を装ふ。外縁に近く黒紋列ありて、何れも之れに白鱗を混じ、翅端にあるものは三角形をなす。外縁線は判然せざる暗色。後翅は暗色。縁毛は淡黄褐。裏面は暗色。前翅の外縁は淡黄褐。縁毛は暗色、其の内側に暗色紋を列ぬ。後翅は暗黄、中央に波状をなせる暗色の二帶あり。縁線は黒褐、縁毛は淡黄褐。胸部は前翅と、腹背は後翅と同色。下面は灰白。體長(♀) 22mm. 開張 48 mm.

高椋氏は一頭の雌を捕獲す。

*Togarishachia* (n. g.) の特徴—雌、觸角は鞭状、微毛を装ふ。下唇鬚は細長く、頭頂を越へ、上向し、第三節は割合に大なり。前翅は三角形にして、末端は尖り、外縁は波状をなし、第二及び第三室の削りは少々深し。第六脈は中室前角の下方より出で、第五脈は横脈の中央より少しく上方に出で、之れを境として上下の横脈は何れも弓状に彎曲す。中横脈は退化して細し。第三脈は中室の後角よりも遙後方より出づ。後翅の第六及び第七脈は共有の長柄を具へ、

第五脈は横脈の中央より少しく上方に出で、其の下方の横脈は退化して細く、斜傾し、且つ彎曲す。第三脈は中室の後角より遙離れて後方より出づ。

Genotype—*Togarishachia argentopicta* MATSUMURA.

一六、バラボラシヤチホコ

*Neoshachia* (n. g.) *parabolica* MATSUMURA (n. sp.) (第6圖版(6))

雌、前翅は灰色にして、少しく紫色を帯ぶ。翅底の中央より外縁に近く太き黒色の一帯を縦走し、其の末端に連続して黒色の弓狀帯ありて、バラボラ形をなし、其の内部は灰白なり。其の彎形をなせる外側に平行せる細き一黒帯ありて、更に其の外側は白線にて縁取らる。外縁線は黒色にして割合に太し。縁毛の基部に淡色紋あり。前縁の外半部は翅端を除き黒褐。後翅は暗色、裏面、前翅は暗色、前縁の外方三分の一に白紋を列ぬ。後翅は灰白、中央に判然せざる暗色の一帯ありて、少しく弓狀に曲る。頭は暗褐、少しく白毛を混す。胸部は前翅と、後翅は腹部と同色。觸角は黒褐。體長(♀) 17 mm. 開張 39 mm.

高椋氏は二頭の雌を捕獲し、其の一頭を余に贈る。

*Neoshachia* (n. g.) の特徴一雌、觸角は鞭狀、短毛を粗生す。下唇鬚は上向して稍々頭頂を越へ、長毛を裝ひ、第三節は小にして卵形に近し。前翅は長く、前縁は端直にして其の末端は少しく弓狀をなして下方に曲る。外縁は斜にして、少しく弓狀に孕む。完縁なり。小室は頗る細長。第六脈長柄を具へ、第七及び第九脈は小室の末端より出で、共有の短柄を有す。第十脈は小室より出づれども、第七脈より遙離れて小室より出づ。第五脈は横脈の中央より少しく上方に出で、其の起點以下の横脈は甚だしく傾斜して弓狀に彎曲すれども、退化して細し。第三脈は中室の後角より遙後方より出づ。後翅の第六及び第七脈は共有の長柄を具へ、第五脈は退化して細く、横脈の中室よりも遙上方に出づ。第五脈起點以下の横脈は細くして甚だしく傾斜す。第三脈は中室の後角よりも離れて後方より出づ。

Genotype—*Neoshachia parabolica* MATSUMURA.

一七、クロボシシヤチホコ

*Hexafrenum* (n. g.) *macurifer* MATSUMURA (n. sp.) (第6圖版(4))

雌、體翅暗色。前翅の中央に淡色の一縦條を具へ、横脈は黒色。第二脈の基部に當り第一室に一双の黒紋ありて、外方のものは弦月形をなす。後黄線は黒色にして細く、第三脈以上にては點線となり、餘り判然せず。第三室の基部より翅端に向つて黒色の太き一帯を縦走し、之れは外縁にて波狀をなし、灰色線にて縁取らる。横脈の外側に當り前縁に黒紋を裝ひ、更に其の外側に一白紋あ

り。翅端に灰白の一縦紋を具へ、其の第六及び第七室に當る處に黒條あり。縁毛は濃色。後縁にある毛塊の末端は少しく褐色を帯ぶ。後翅に斑紋を缺き、縁毛は淡色。裏面は暗色。前翅前縁の各縦脈の終る所に灰白點ありて、内側のも最も大なり。頭は暗褐、觸角の下方に灰白の毛塊あり。前胸は灰白、他は暗色。體長(♀) 23 mm. 開張 53 mm.

高椋氏は二頭の雌を捕獲し、其の一頭を余に送附せり。

*Hexafrenum* (n. g.) の特徴—雌、觸角は鞭狀、微毛を裝ふ。下唇鬚は少しく上向し、長毛多く、稍々頭頂に達す。第三節は小にして、稍々橢圓形を呈し、前方に向く。頭頂に直立せる毛塊あり。尙中胸背にも直立せる鱗毛塊ありて、其の毛は何れも杓子狀をなす。前翅は三角形を呈し、外縁の第一、第二及び第三室は弓狀に淺く刳らる。後縁の中央にある毛塊の突起は三角形にして、其の鱗毛は何れも杓子狀をなす。小室を缺き、第六脈は長柄を具へ、第七脈は第十脈よりも遙中室に近接して分出す。横脈は副前縁脈に對して稍々直角をなす。第三脈は遙中室の後方より出づ。後翅の第六及び第七脈は共有の長柄を具へ、第三脈は中室の後角より遙後方より出づ。後翅の抱刺は六本あり。

Genotype—*Hexafrenum maculifer* MATSUMUSA.

#### 十八、ナカジロシヤチホコ

#### *Notodonta griseotincta* WILEM. (第7圖版(12))

これは既にワイルマン氏の (Entomologist. p. 312 1910) 記載せるものなるが、其の説明の充分ならざる所あるを以て今茲に詳記すべし。

雄、體翅暗褐。斑紋は黒色。翅底線は外方に弓曲し、夫れに直角をなして一縦線を外方に出す。前横線は中脈の所にて外方に屈折し、中室には一縦線を裝ひ、前横線と横脈紋との中間は灰白。中横線は横脈紋の外側にて餘り判然せず。後横線は斜走し、第六脈の所にて外方に屈折す。外縁線は暗褐にして波狀を呈し、其の外側は灰白線にて縁取らる。外縁は判然すれども、白色の縦線にて遮斷せらる。縁毛に黒點を列ぬ。後翅に判然せざる濃色の二帶ありて、外側のもの太し。外縁線は黒色にして細し。裏面は暗灰色。前翅の中央に近く暗色の帶ありて、其の前縁の終止する處に黒點を裝ひ、其の外側の前縁に白點を列ぬ。外縁に近く暗褐を呈する横帶あれども餘り判然せず。外縁は黒色、其の縁毛には黒紋を列ぬ。後翅は灰色、中央に暗色帯を具へ、其の外側は灰白線にて縁取らる。外縁及び縁毛は前翅のそれに異ならず。横脈紋は暗色。觸角は黃褐。腹部は灰黃。體長(♂♀) 16-17 mm. 開張 38-43 mm.

六頭の標本中、五頭は高椋氏、一頭は齊藤氏の採集せるものなり。

## 一九、フタホシシヤチホコ

*Notodonta bipunctigera* MATSUMURA (n. sp.)

雌雄、前翅は灰色、前縁の大部は灰白。中室に二黒點ありて、其の横脈上にあるものは圓く、其の内側にあるものは稍々半圓形を呈す。副前縁脈に沿ひ、翅底に近く一黒縦條を装ふ。横線は何れも波状にして、暗色を呈し、餘り判然せず。前横線は細く、第一脈以下にありては内方に斜走す。中横線は横脈紋の處にて外方に屈折し、第二室の處にて一雙となる。後横線は前縁の黒紋に連続す。亜外縁線は短かく、後横線と稍々平行し、第五及び第六室に黒點を装ひ、縁毛には黒紋を列ぬ。後翅は暗灰色にして、外縁及び横脈紋は暗色。裏面は暗灰色。横脈紋、其の外側の點紋列及び外縁に近き廣帯は暗色。外縁は淡色。翅端は灰白。前縁の外半に白紋を列ぬ、縁毛には暗色紋を列ぬ。後翅は灰白。横脈紋及び其の外側の點紋列は暗色。頭は灰褐。觸角は暗褐。腹部は灰黄褐。體長(♂♀) 19-23 mm. 開張 42-48 mm.

高椋氏は二雙の雌雄を捕獲し、其の一雙を余に送附せり。

## 二〇、ホリシヤシヤチホコ

*Notodonta horishana* MATSUMURA (n. sp.) (第6圖版(5))

雌、前翅は暗褐、横脈を界とし翅底の半分は灰色。横線は暗褐。翅底線は判然し、其の終る處に短き一縦條あり。前横線は波状、これは後縁の房狀突起の中央に達し、其の突起の内外は黄色線にて縁取られ、中脈の處にて外方に屈折す。中横線は太くして暗色。横脈紋は黒褐、其の周縁は灰白。後横線は波状を呈し、第六脈の處にて外方に弓曲し、後縁に近く其の外側は黄白線にて縁取らる。亜外縁は赤褐にして太く、波状を呈し、後縁角の處にて判然せる二紋となる。外縁線は暗褐、第一及び第七室に各一個の黒縦條あり。縁毛は赤褐を帯ぶ。後翅は暗色、判然せざる褐色の二帯を具へ、縦脈は褐色。裏面は赤褐。外縁に近く判然せざる淡色の太き一帯あり。後翅の横脈紋は暗褐。體は暗褐。胸背に灰白毛多し。腹部は灰黄褐。體長(♀) 19 mm. 開張 44 mm.

高椋氏は唯だ一匹の雌を採集せり。稀なるが如し。

## 二一、マヘシロモンシヤチホコ

*Allodontoides costiguttatus* MATSUMURA (n. sp.) (第7圖版(11))

前翅は暗褐、少しく鉛色を帯ぶ。横線は黒色、翅底に於ける中脈下に淡黄褐の大紋あり。前横線は淡黄褐、中脈下の其の外側は黒線にて縁取られ、第一室に於て其の内側に大形の黒紋を装ふ。環狀紋及び腎臟紋は黒色。環狀紋は一

點となり。腎臟紋は短線状をなし、其の周圍は淡黄褐。後横線は一双にして、波状を呈し、外側のもは淡黄線にて縁取られ、其の前縁には同色の一紋を装ふ。亜外線は淡色にして波状を呈し、第三及び第四室に黒紋を装ひ、其の終止する前縁に淡黄褐の一紋あり。後縁の中央にある房状突起は三角形にして黒色を呈す。外縁線は黒色にして細く、其の外側は淡色線にて縁取らる。後翅は灰褐にして、外縁には暗色線あり。裏面、前翅は暗色、中央に淡色の一帯を装ひ、前縁の外方三分の一に白色紋を列ぬ。後翅は灰色、中央に暗色の一帯を具へ、横脈紋も亦暗色なり。觸角は黄褐。下唇鬚、頭及び前胸背は暗褐。中後の兩胸背は淡黄褐。腹部は後翅と同色。基部及び末端に暗色部あり。體長(♂) 21 mm. 開張 49 mm.

高椋氏は唯だ一頭の雄を採集せり。

## 二二、シロヅエグリシヤチホコ

*Shachihoka* (n. g.) *formosana* MATSUMURA (n. sp.) (第6圖版(1))

雄、前翅は暗褐、少しく鉛色を帯び、前縁及び後縁は淡色、横線は濃色。翅底線は判然せざれども、其の外側にある白線は判然し、更に其の外側に灰白の部分あり。一双の前横線は點紋より成り、前縁にて大紋となる。横脈紋は橙黄色にして、圓形を呈し、其の内側に褐色の一紋ありて、横脈紋を蝕す。後横線は波状にして三線より成り、内側のもは横脈紋の外方にて、弓状に曲り、外側のもは内側線に稍々平行す。中央にあるものは短かくして、外側線に近接し、第四脈の基部に終る。外縁の剝られたる部分の縁毛は白色。後翅は栗色にして、前縁及び外縁は淡色。縁毛は白色にして、黄褐毛を混す。裏面、前翅は灰褐。翅底の半部は黄褐。横脈紋は少しく濃色。三分の二の處に暗色の波状帯あり。下唇、頭、前胸背、體下及び脚は白色。下唇の背面は褐色。胸部は淡き桃色。腹部は黄褐。體長(♂) 29 mm. 開張 74-80 mm.

高椋及び齊藤の兩氏は各一頭の雄を捕獲せり。

之れは *Nadata niveiceps* Wk. (Cat. XXXII, p. 554, 1865) に酷似せり。然れどウオルカー氏の記載は不完全にして同定するを得ず。ハンプソン氏の記載はウオルカー氏の記載と大いに異なるを以て何れが事實なるやを知るに困む。

*Shachihoka* (n. g.) の特徴一之れは *Euhampsonia* (DYAR) に酷似すれども、其の異なる所は左の如し。

一、雄、末端の十七節を除き觸角には櫛齒状の長齒ありて、夫れは末端に至るに従ひ次第に短小す。

二、胸部には鶏冠様の突起を缺く。

三、前翅の翅端は稍々載斷状に終り、方形をなす。第六脈は長柄を有す。後

翅の後横脈は甚だ短かく、中横脈は長しと雖ども退化して細し。第三と第四脈とは共有の短柄を有す。

Genotype—*Shachihoka formosana* NATSUMURA.

附言—ハンプソン氏は *niveiceps* Wk. を *Nadata* 屬に編入しあれども、之れは北米産の屬にして全く異なりたるものなり。余は二頭の雄を所有するが、何れも明瞭に鷄冠狀突起の痕跡を認め得ず。

### 二三、キンイロシヤチホコ

*Eushachia* (n. g.) *auripennis* MATSUMURA (n. sp.) (第7圖版(2))

雄、前翅は橙黄色。前縁に赤褐の短かき三斜紋ありて、何れも後縁角の方向に向く。中脈の下方に赤褐の二縦條を具へ、第二脈の基部より翅端に向つて暗色の一弓狀帶を送る。横脈紋は暗褐、其の後方に赤褐の一斜紋ありて、後縁の中央には環狀の一暗褐紋を装ふ。一双の亞外縁線は波狀にして暗色なれども、地色の暗黄なる爲め餘り判然せず。後横線は暗黄にして波狀を呈し、唯だ第四脈以上の處にて判然す。後翅は暗色。裏面。前翅は灰色。前縁は黄色。後翅は灰白。觸角は黄褐。頭及び胸部は橙黄色。前胸に灰白毛あり。腹部は暗色。體長(♂) 19 mm. 開張 41 mm.

高椋氏は一頭の雄を捕獲せり。

*Eushachia* (n. g.) の特徴—雄、觸角は鞭狀にして、粗毛を簇生す。下唇鬚は上向して頭頂に達す。第三節は小にして前方に向く。前翅は稍々三角形を呈し、翅端は鋭角をなし、稍々尖る。小室を具へ、第六脈は短柄を有し、第七脈は小室の末端より出づ。第十脈は第七脈よりも遙翅端に近接して分出す。横脈は弓狀をなし、第五脈は横脈の中央よりも上方に出で、第三脈は中室の後角よりも後方に出づ。外縁は完縁にして、第四脈の處より急に傾斜して後角に至る。後翅の第六及び第七脈は共有の長柄を具へ、第三脈は第四脈と稍々同所より出づ。後脛節に頗る長き二双の距を装ふ。

Genotype—*Eushachia auripennis* MATSUMURA.

此の屬は *Mimopydna* MATS. に稍々似たる所あれども、其の觸角の鞭狀なるより容易に區別し得べし。

### 二四、ホリシヤキシヤチホコ

*Ceira horishana* MATSUMURA (n. sp.) (第7圖版(1))

雄、前翅は暗黄、紋條は暗色。翅端より中室紋に達する斜帶は太し。中室紋は橢圓形。横脈上の一黒點は黒色。翅底線は前縁にて判然す。前横線及び中横線は細くして、波狀を呈すれども、餘り判然せず。亞外縁線は紋列より成り、之

れは少々後縁の中央に終る。尙第六室の基部に暗色の一紋を具へ、縦脈は何れも暗灰色を帯ぶ。翅端は直角よりも少々狭し。後翅は暗褐にして、少しく紫色を帯び、縁毛は淡色。裏面は黄白。前翅の中室に暗褐の長毛を簇生す。下唇鬚は白色、其の背面は第三節を除き黒色。觸角には長き櫛齒を具て、之れは末端に至るに従ひ次第に短小す。胸部は前翅と、腹部は後翅と同色。體長(♂♀) 13-14 mm. 開張 47-53 mm.

齊藤氏は二頭の雄を、高棕氏は一頭の不完全なる雌を捕獲す。雌にては前翅の前縁暗色にして、斜條は餘り判然せず。

これは *C. ferribera* WK. に酷似すれども、形遙に大にして、後翅は暗色なるを以て容易に區別し得べし。

#### 二五、トガリシヤチホコ

#### *Achepydna* (n. g.) *formosicola* STRAND (第7圖版(7))

之れは STRAND 氏が既に Archiv für Naturgeschichte XII, p. 158 (1915) に發表せるものなるが、今少しく之れを詳細に説明せん。雄、前翅は黄白。後縁は黄褐。黄褐の二縦條ありて、一は翅底より翅端に出で、他は之れに平行して第一脈の約中央より起り、第四脈の末端に至りて終る。尙中室の上方にも同色の縦條を具へ、之れは外方にて二分すれども、餘り判然せず。後横線の所に黄褐の紋列あれども、餘り判然せず。外縁に近く暗褐の紋列あり。外縁線は黄褐にして繼續せり。後翅は暗色。縁毛は淡色。裏面は暗灰色。斑紋なし。胸部は前翅と、腹部は後翅と同色。尾端に灰白の長毛束あり。下唇鬚は黄白。其の背面は暗褐。觸角は暗褐。雌にては翅端一層尖れり。後翅は淡き暗褐なり。體長(♂♀) 25 mm. 開張 47-56 mm.

齊藤氏は雌雄各一頭の標本を採集し、余に送附せり。

*Achepydna* (n. g.) の特徴—*Pydna* 屬に似れども其の異なる所は次の如し。

雄、觸角は鞭狀なれども、低き鋸齒狀をなし、各節に粗毛を簇生す。下唇鬚は長くして上向し、第三節は小にして少々球形を呈す。前翅は三角形、翅端は尖る。前後の兩縁は少々端直にして、内縁は少しく弓狀をなして突出す。外縁は斜にして、端直一直線をなす。小室は細長、第六脈は短柄を具へ、第七脈は第九脈及び第十脈よりも少しく内方より出で、第九及び第十脈は小室の末端より出づ。第五脈は横脈の少々中央より出で、第五脈起點以下の横脈は甚だしく彎曲す。第三脈は中室の後角よりも遙離れて後方より出づ。後翅の第六及び第七脈は共有の長柄を具へ、第五脈は横脈の中央よりも少しく上方より出で、横脈は弓狀に彎曲す。第三脈は前翅同様に中室後角よりも遙後方より出づ。腹部は長く、末端に帶狀の毛束あり。脚は細長、後脛節の末端には二双の長距あり。

りて、内方のものは短し。雌にては觸角鞭状を呈し、短毛を粗生す。前翅の前角は雄のそれよりも一層尖れり。

Genotype—*Achepydna formosana* MATSUMURA.

### 臺灣産天社蛾科目録

#### A LIST OF THE FORMOSAN NOTODONTIDAE.

By

S. MATSUMURA.

Fam. Notodontidae.

Subfam. I. Dudusinae.

1. *Tarsolepis sommeri* HB. ギンモンズズメモドキ。
2. *Tarsolepis taiwana* WILEM. タイロンギンモンズズメモドキ。
3. *Dudusa fumosa* MATS. (n. sp.) タイロンフサシヤチホコ。
4. *Dudusa nobilis synopla* SWINH. オホフサシヤチホコ。
5. *Tensha* (n. g.) *striatella* MATS. (n. sp.) タテスダシヤチホコ。

Subfam. II. Cerurinae.

6. *Cerura liturata* WK. タイロンナカグロシヤチホコ。
7. *Dicranura formosana* MATS. タイロンモクシヤチホコ。

Subfam. III. Stauropinae.

8. *Stauropus alternus* WK. ナントシヤチホコ。
9. *Stauropus basalis* MOOR. ヒメシヤチホコ。
- \*10. *Stauropus confusus* WILEM.
- \*11. *Stauropus nigribasalis* WILEM.
12. *Stauropus takamukuanus* MATS. (n. sp.) ミドリシヤチホコ。
- \*13. *Stauropus wilemani* MATS. (= *pulverulenta* WILEM.
14. *Quadricalcarifera marginalis* MATS. (n. sp.) ツマオビシモフリシヤチホコ
15. *Quadricalcarifera perdix* MOOR. プライヤシヤチホコ。
16. *Quadricalcarifera subgeneris* STRAND (= *horishana* MATS.) ホリシヤチホコ
17. *Quadricalcarifera viridimaculosa* MATS. アオモンシヤチホコ。
18. *Quadricalcarifera viridipicta* WILEM. タイロンウスアオシヤチホコ。
19. *Netria viridescens* WK. オホアオシヤチホコ。
20. *Damata longipennis* WK. クロモンシヤチホコ。
21. *Mesophalera sigmata* BTLR. シタクロシヤチホコ。
22. *Cnethodonta grisescens* STGR. シロシヤチホコ。